

研究結果報告書

『和名類聚抄』と唐代類書

所属： 華中師範大学 外国語学部 日本語専攻
役職： 研究室主任
氏名： 尹 仙花

本研究は『和名抄』の引用書目を研究対象とし、文献学の出典論・源泉論の手法によって、『和名抄』における『法苑珠林』『芸文類聚』『初学記』の引用箇所をすべて指摘し、その様相を明らかにすることを目的とした。こうした視点と手法に基づき、『和名抄』の引用書目を検討、分析した結果、次のような研究成果を上げることができた。

第一に、『和名抄』所引『荊州記』『玄中記』『行路難』『桃賦』は直接引用ではなく、『芸文類聚』系統の類書から間接的に引用された可能性が高い。『和名抄』が『芸文類聚』より引用されたと推測される本文は数が少ないが、「調度部」「草木部」「居処部」「果瓜部」など広範囲にわたって引用されている。『和名抄』編纂において著者源順は、専門書を用いて部の骨組みを作り、類書を用いて語彙を補ったと考えられる。

第二に、『和名抄』は『江表伝』『魏略』『漢武故事』『南州異物志』『呉時外国志』『外国志』『外国伝』『広志』を引用しているが、これらの書物は早い時期に散逸し、更に日本に渡来した痕迹もない。『和名抄』の引用内容と類似するすべての本文を調査した結果、仏教類書『法苑珠林』にだけ酷似する本文が見つかった。従って、『和名抄』におけるこれらの引用書目は仏教類書『法苑珠林』系統から間接的に引用したのではないかと推測される。

第三は、『和名抄』が『法苑珠林』と類似する本文を持つことにより、『法苑珠林』という仏教類書或いはその系統の書物が、少なくとも『和名抄』成立当時、つまり承平年間には日本に渡来していたのではないかと推測できる。

第四に、『和名抄』は一般類書『芸文類聚』『初学記』仏教類書『法苑珠林』から間接的に本文を引用し、その内容は多くの部立に亘っている。これにより、すべての分野を網羅した辞書を世に送り出そうとした著者源順の編纂意欲、また、著者の編纂意図の裏にある時代背景或いは時代の変遷を窺い知ることができるのである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

「『和名類聚抄』における「魏武疏」「魏武上雑物疏」出典表記について」
・尹仙花・東西文化の融合国際シンポジウム・2013年10月27日・大東文化会館ホール

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「『和名類聚抄』所引『吳時外国志』『外国志』『外国伝』」・尹仙花・『大東文化大学20周年記念論文集』・2013年1月

「『和名類聚抄』所引「魏武疏」「魏武上雑物疏」」・尹仙花・『水門』・2014年9月発行予定

「『和名類聚抄』と唐代類書」・尹仙花、張沖・『語学教育研究論叢』・2014年10月発行予定

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)